

まちがど

ネットワーク

お便りください

このコーナーは、皆さんの地域のお話をお届けしています。広報広聴課 ☎51-0123 内線2823へお便りください。

市長への 手紙から

脳血管障害患者の リハビリ施設増設を

脳血管障害の後遺症には、リハビリ（患者を社会復帰させるための機能回復訓練）が欠かせません。高齢化が進む今、中央病院にリハビリ施設の増設はできませんか。

〈市長への手紙〉

現代はストレスの多い時代ですから、脳血管障害の患者がふえているようです。この後遺症には、リハビリが欠かせません。

高齢化が急速に進む今、病気になるまいよう予防することは大切ですが、だれもが脳卒中や脳梗塞などの脳血管障害になる可能性があります。ましてや、リハビリを伊豆方面に紹介されたら、病院への通いや付き添いのことなど、家族の負担は大変なものになります。市内でリハビリが受けられたら、どれだけ助かるかしれません。脳外科のある中央病院に、リハビリ施設の増設をお願いできないでしょうか。



芦澤恵子さん
(中里338-17)

〈市長の答え〉

リハビリが必要な患者は、芦澤さんのお手紙にもありましたように、年々ふえる傾向にあります。リハビリの期間も三ヶ月から二年くらいのケースが多く、さまざまに異なる患者への幅広い対応にはより多くの専門病床・設備・スタッフが求められています。

中央病院は、平成二年度から始まった増改築事業でリハビリ部門を新館に移設し、新たに作業療法（主に日常生活に必要な動作訓練）を取り入れました。

今後は作業療法士などのスタッフの増員と、これから開く新館三階にリハビリ病床を設けたりして、今ある病院の施設の中でよりよいリハビリが受けられるよう考えています。また、福祉サービスなどを考える「高齢者保健福祉計画」づくりの中でもリハビリが検討課題になり、整備に向けての作業が進んでいるところです。



インディアカ「吉原クラブ」

初めての人でもすぐに友達になれる雰囲気、練習試合にも出ることができます。

会場は、吉原小学校体育館。練習日は、毎週金曜日。時間は、午後7時から9時まで。

会費は、1ヵ月 1,000円。

*問い合わせ ☎52-5562 (田中さん)

夕飯の支度と片づけを急いで済ませると、三々五々吉原小学校の体育館に集まる「吉原クラブ」の皆さん。ストレス解消にと、三年前に発足したインディアカのクラブです。

す。もともとは、南アメリカのインディアン遊びを、ドイツ人が考案したもので、ルールはバレーボールと同じもの。ネットの高さは、女性用が百八十五センチです。

「吉原クラブ」には、広見地区の仲間が練習試合にやってきます。初めての人でも、ちょっとの期間でそれなりにさまになるので、すぐにでも試合に出ることができそうです。楽しいスポーツインディアカ。だれでもできるインディアカ。あなたも、始めてみませんか。

突然ですが
おじゃまします

network

⑤